

教員養成校訪問 学校法人 静岡精華学園 静岡福祉大学

平成29年5月22日(月) 焼津市本根にある学校法人静岡精華学園静岡福祉大学に広報委員8名で訪問し、同校子ども学部子ども学科の1期生にあたる3年生の学生9名(男子学生4人、女子学生5人)と同校の先生4人にお話を伺いました。

んからお話を伺いました。

どうして、この大学を選んだのかを伺いました。学生は保育士・幼稚園教諭の資格・免許取得を前提の上で、「保育と心理と福祉と一緒に学べるから」「オープンキャンパスにおいて先生と学生との距離感が近く、先生に親しみを感じたから」と答えました。全員の学生が「この大学は少人数制であり、先生が一人ひとりの学生に親身になってくれ、授業も分かり易くきめ細かく教えてくれ、勉強が楽しく毎日の学校生活が充実している」と入学して良かったと笑顔で答えました。

卒業後、希望する就職先とその理由について伺ったところ、これまで保育所での実習経験しかないため、幼稚園にしようか保育所にしようか迷っているという学生は答えましたが、「幼稚園ではピアノを弾かなければならないから不安だ」、「給与・有給を重視するたためた公務員を目指したい」という声もありました。私立と公立の違いを明確にイメージできてはいない様子の学生も多く、4年間の学びを通して今後選択をしていくことになるのだと思えます。

就職先としての幼稚園選びのポイントについて伺うと、ほぼ全員が教職員同士の人間関係を重視することでした。「幼稚園は人間関係が厳しいと聞いています。また、幼稚園では職場環境も厳しく、若い幼稚園教諭が数年で



はじめに先生から大学の特色について「子ども学科の定員は各学年50人で少人数制です。保育士や幼稚園教諭として子どもに関わるための知識を身に付ける保育・幼児教育分野、子どもや保護者のこころを理解し、支援の方法を学ぶ心理学分野、障がい児や悩みを抱えている保護者の支援に必要な知識や技術を学ぶ福祉分野の3つの分野に力をいれています。また、体験を通じて学ぶことが大切だと考え、幼稚園や児童福祉施設という現場での学びの場を提供しています。学生には卒業後、ここで学んだことを自分で考え、発展させる人材になって欲しいと願って保育者育成をしています」との説明がありました。

次に学生の皆さま



辞めているとも聞いています。どれ位の割合で辞めているのでしょうか」と将来の不安を広報委員に質問してきた学生がいました。この質問に広報委員から「それぞれの幼稚園によって独自性があり、それぞれ職場環境にも違いがあります。離職率が高い幼稚園もあるようですが、離職率の低い幼稚園も

あります。私立幼稚園には各園の独自性があるが故の良さもあります。私立幼稚園では静岡県私立幼稚園振興協会主催の研修制度があり、私立幼稚園の先生は常に自己研鑽をしています。公立の先生より質の高い先生になることが出来ます。是非、多くの私立幼稚園へ積極的に足を運んでそれぞれの幼稚園の良さや雰囲気を感じて就職先を見つけて下さい。募集についても静岡県私立幼稚園振興協会ホームページの求人・求職情報システムを活用して下さい。」と助言させていただきました。

併せて学生の不安要素であるピアノについても「子ども達が音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったり音楽を楽しむことが目的です。気軽にピアノを弾いて下さい。ピアノにこだわることなく、ギターでも良いし、何の楽器でも良いのです。色々な分野で

自分の持ち味となる保育の強みを身に付けて下さい」と助言させていただきました。

静岡福祉大学は教員養成校としては新しい大学であります。母体となる静岡精華学園は静岡県中部地区に立地し、明治時代から地域社会に貢献する有為な人材を多く輩出してきた伝統学園です。学生達は「大学生活は学びを通じて自分が成長している実感があり、毎日が充実している。卒業後は多くの子ども達に寄り添い、保護者から期待される教員になりたい」と明るく目を輝かせて答えたことが印象的でした。

これから同校から幼児教育界に有為な人材が多く輩出されることできることを祈ります。

最後にお忙しい中でお話を聞かせて頂いた学生の皆さん、参加して下さいました先生に感謝を申し上げます。同校を後にいたしました。

